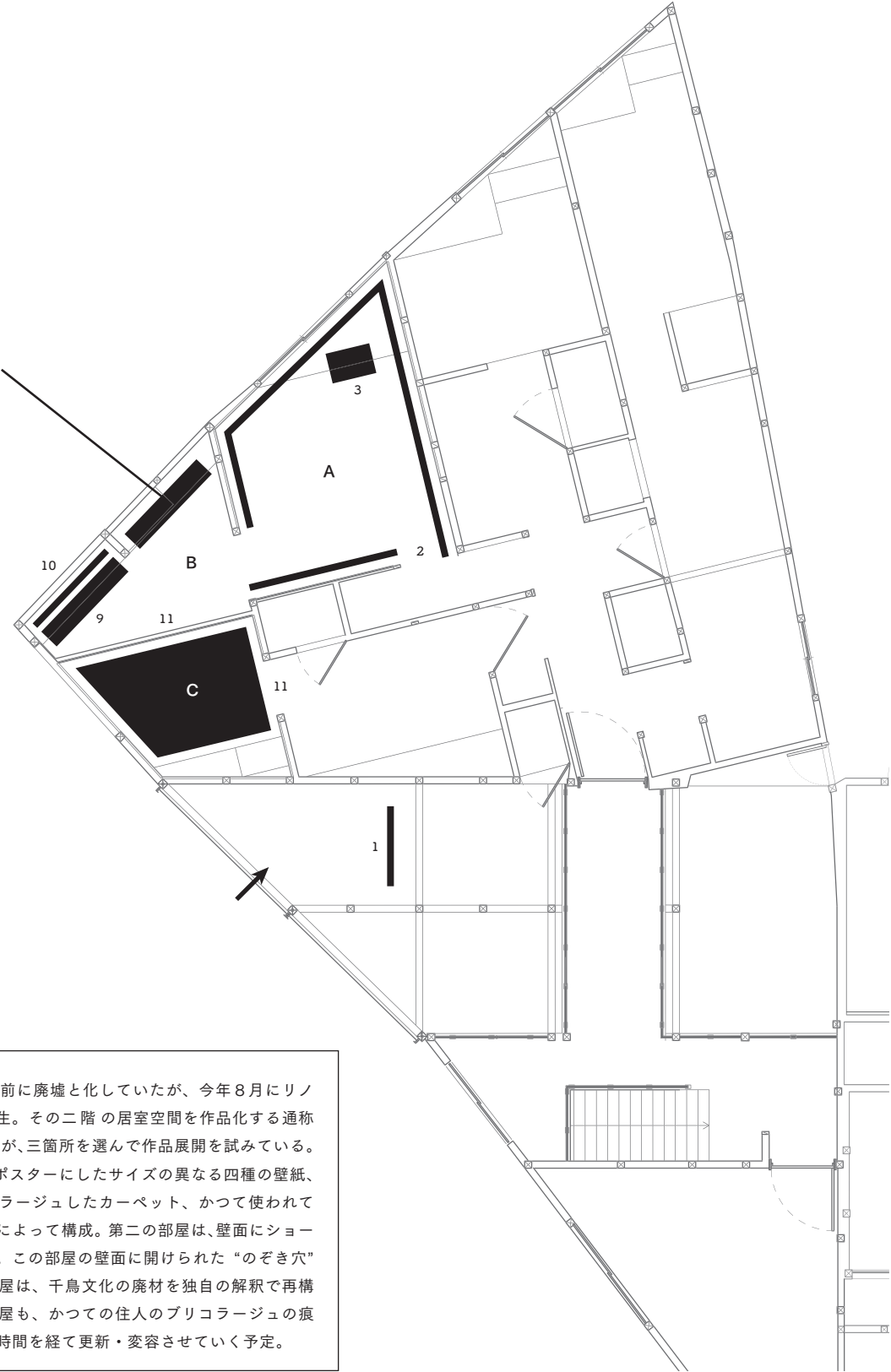
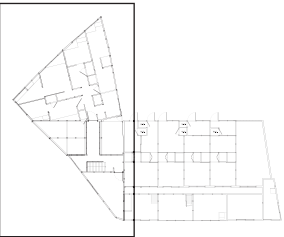


	1	Games,Dance and the Constructions(モビール) #2	2017	木、シルクスクリーン	H180×W125×D2cm
A	2	ボイルド空想 (ポスター)	2016-2017	オフセット印刷	サイズ可変 Dimensions variable
	3	White Discharge Project	2017	プラスチックパイプ、石膏、ジュッソ、シンク	サイズ可変 Dimensions variable
B	4	Model of Unknown Stage #22	2014	プラスチック製品	サイズ可変 Dimensions variable
	5	Absolute Ego Dance	2003	プラスチック、フィギュア	サイズ可変 Dimensions variable
	6	White Discharge (Figure/2013)	2013	プラスチック、フィギュア、ジュッソ	サイズ可変 Dimensions variable
	7	White Discharge (Figure/Murano)	2015	ヴェネチアングラス	サイズ可変 Dimensions variable
	8	Group (Brown/Murano)	2015	ヴェネチアングラス	サイズ可変 Dimensions variable
	9	Games,Dance and the Constructions (Soft toy/silver/Kitakagaya)	2017	布、綿、シルクスクリーン	サイズ可変 Dimensions variable
	10	Model of Something (Kitakagaya)	2017	アクリル、油性ペン	サイズ可変 Dimensions variable
C	11	クリーミーな部屋	2017	古材、金具	サイズ可変 Dimensions variable

千鳥文化 2F

4	5
6	
7	8



千鳥文化

約60年前に建てられた文化住宅は、数年前に廃墟と化していたが、今年8月にリノベーションし、新たな活動拠点として再生。その二階の居室空間を作品化する通称「部屋プロジェクト」の第一弾として金氏が、三箇所を選んで作品展開を試みている。第一の部屋は、漫画のスクリーンートをポスターにしたサイズの異なる四種の壁紙、昭和時代の漫画から抜粋した日用品をコラージュしたカーペット、かつて使われていた台所のシンクを台座にした彫刻作品によって構成。第二の部屋は、壁面にショーケースを新設して、様々な小作品を展示。この部屋の壁面に開けられた“のぞき穴”を経て眺めることができる隣の第三の部屋は、千鳥文化の廃材を独自の解釈で再構成したインスタレーション。いずれの部屋も、かつての住人のブリコラージュの痕跡を引き継ぐかのように、今後、金氏が時間を経て更新・変容させていく予定。

MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA Open Storage 2017 MASK Open Storage 2017 金氏徹平 2017年11月3日(金・祝) - 26日(日) 12:00-18:00 金土日祝 crispy storage / creamy room 金氏徹平、宇治野宗輝、久保田弘成、名和晃平、やなぎみわ、ヤノベケンジ

芸術の超越力の試行：第三章

コラージュの作法の極意

重厚長大産業地における「芸術の超越力の試行：第三章」は、軽薄短小産業とも組しながら、既知を未知なるものに変容させる、コラージュの極意者を主役に迎える。

金氏徹平は、身のまわりの事物を素材に、部分を切り抜き、繋ぎ合わせることで、主観的な構成の意図を排した意想外の組合せを重視し、既存の文脈を読み替えるコラージュの手法によって作品を制作している。プラスチック容器・フィギアなど様々な既製品を組み上げて石膏・樹脂をかけた彫刻や、塗り絵・地図の線と余白で構成したドローイングなど、「白」をテーマにした《White Discharge》シリーズ。感情や気分、気配や音・速度・光といった現象など、形の無いものを記号化した漫画のスクリーントーンを版画・ターポリン印刷・ポスターに用いたり、雪だるまをつくるように都市にある素材を手遊び感覚で造形物を創り出す《ボイルド空想》シリーズ。ドローイング→アニメーション映像→舞台セット→彫刻へと同じイメージが脈々と進化を遂げていく《tower》等々。

金氏は常に複数の作品を同時多発的に発生させ、年月を重ねながらシリーズのテーマを探究している。その作法の極意は、各種素材や各々の状況・空間・環境はもとより、関わる人々のメチエまでも、コラージュの要素として射程にしていることだろう。近年は、舞台・音楽・文学・建築などの表現者とともに実験性の高い制作法を試行し、活動領域はもとより表現世界も拡張させている。

そんなコラージュの極意者によって、1000平米の工場・倉庫跡に佇む巨大な作品群は組換えられ、緩やかに関与しながら、照らされる光によって表情を変えている。数分ごとに、昼や夜に、異なる様相を

成し、空間そのものが動的な存在として息づいているかのように、、、その体験は、路地散策やモノの見立てを楽しむ能動性によって変容する。さらに金氏の仕掛けは、倉庫から外に出て、約60年前に建てられた近隣の文化住宅へと目端を利かせ、繋がっている。新たな活動の場として生まれ変わった二階の部屋では、重厚長大産業の労働者である当時の住み手のブリコラージュによって形成された昭和建築の物証を、現在のブリコラージュを駆使する金氏が引き継ぎ、他者の痕跡と格闘しながら、これから続く創作の約束を果たしたのだ。

重厚長大と軽薄短小の産業物と時代性、巨大な倉庫と極小の部屋、相反する二つを繋ぐ金氏の創造の欲望は静かだが凄まじい。

都市や工場跡やネットで素材を愛でて剪定し、重力や時間と格闘しながら形を成す。そこに生まれた空間では、多様な他者の意図を迎え入れて組み、一人では成し得ない次元へと誘う。それはまるで華道や茶道を極める数寄者の極意にも似て非なる精神が宿る。と見たてるのは、言い過ぎだろうか。いやしかし、臆せず明言しておきたい。「侘びすきにて、しいて茶法にもかかはらず、器軸をも持たず、一向自適を趣とす」と、流行や高額な茶器には目もくれず、時に痛快なユーモアで客人をもてなし、独自の茶道を追求していた伝説的な茶人ノ貫。この稀代の数寄者と金氏の態度が重なるのだ。「なんでもありで、なにでもなしというのを受け入れる。」と語る金氏には、垂流の創造性に自らを委ねて本流にたどり着く、ノ貫的創意工夫の作法の極意が脈づいているということを、信じてやまない、、、

木ノ下智恵子（本展キュレーター、大阪大学 21 世紀懐徳堂 准教授）

Open Storage 2017 ー見せる収蔵庫ー

「クリスピーな倉庫/クリーミーな部屋 Crispy storage / Creamy room」

【日時】2017年11月3日(金・祝)～26日(日) 金土日祝のみオープン

【開場時間】12:00～18:00 ※イベント・プログラム開催時は変動、最終日は17時まで

【会場】①MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 大阪市住之江区北加賀屋5-4-48

②千鳥文化 大阪市住之江区北加賀屋5-2-29

【入場料】無料 ※11/18(土)、11/25(土)を除く

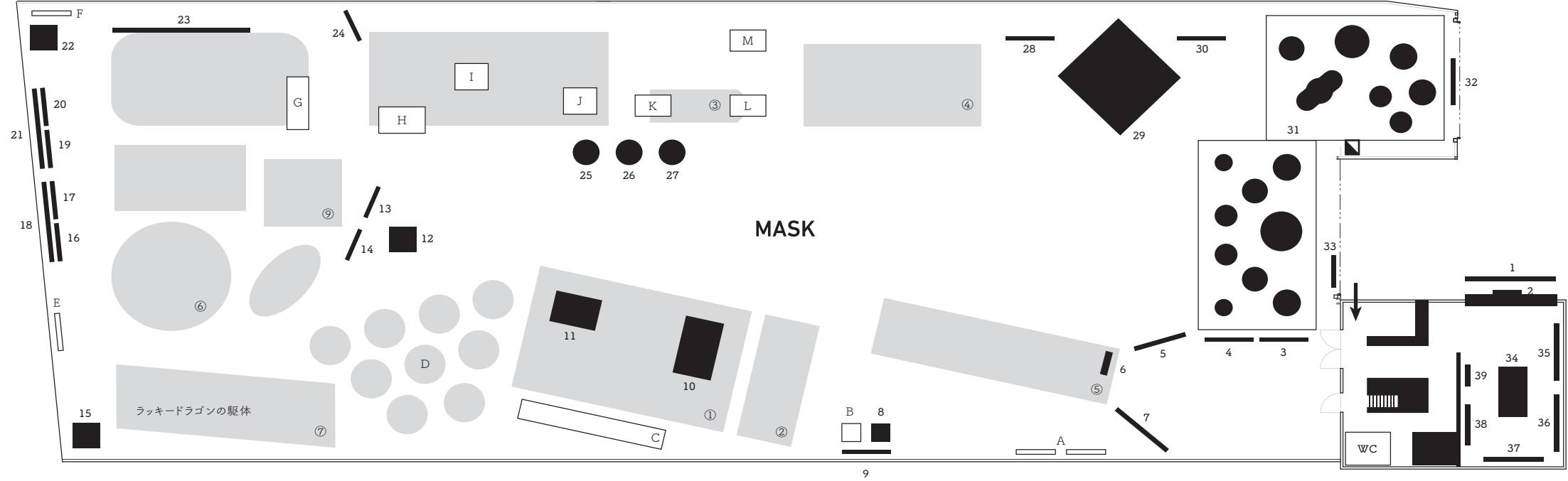
メイン・アーティスト 金氏徹平

参加作家(50音順)

宇治野宗輝、久保田弘成、名和晃平、やなぎみわ、ヤノベケンジ

キュレーター 木ノ下智恵子(大阪大学21世紀懐徳堂 准教授)

主催 一般財団法人おおさか創造千鳥財団
助成 大阪市、芸術文化振興基金、公益財団法人花王芸術・科学財団、公益財団法人朝日新聞文化財団
企画協力 展示構成:dot architects、照明:高田政義(株式会社 流)、おもフェスコーディネート:山崎伸吾
対話型作品鑑賞プログラム監修 京都造形芸術大学アートプロデュース学科、アート・コミュニケーション研究センター
企画連携 KITAKAGAYA FLEA, IN/SECTS
広報協力 KYOTO EXPERIMENT 2017、京都造形芸術大学ULTRA FACTORY、一般社団法人MIWA YANAGI OFFICE、SANDWICH、YAMAMOTO GENDAI



スト
レ
ー
ジ

1	ボイルド空想（バックドロップ / 壁紙）#5	2017	インクジェットプリント、ターボリン	H600×W422
2	Ghost Building	2017	ステッカー	サイズ可変 Dimensions variable
3	ボイルド空想（バックドロップ）#8	2016	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H200×W140×D38cm
4	ボイルド空想（バックドロップ）#9	2016	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H180×W125×D38cm
5	ボイルド空想（バックドロップ）#3	2014	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H220×W150×D64cm
6	Games,Dance and the Constructions(movie)	2011	映像	
7	ボイルド空想（バックドロップ / 壁紙）# 4	2016	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H600×W422cm
8	ボイルド空想（マテリアルのユーレイ）# 2	2016	石粉粘土、ポリエステル樹脂、プラスチック製品、金属製品、陶製品	H67×W57×D36cm
9	ZONES （テニスコート）# 1	2016	油絵の具、反射シート、ホログラムシート、木製パネル	H180×W240×D3.3cm
10	Ghost in the Liquid Room（チョコレートビラー）	2016	アクリル、紙にインクジェットプリント、木、金具	H211.5×W152×D86cm
11	Greenhouse for something	2010	ミクストメディア	H201×W174×D103cm
12	Games,Dance and the Constructions（モビール） #1	2017	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H330×W270×D95cm
13	ボイルド空想（バックドロップ）#11	2016	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H220×W150×D38cm
14	ボイルド空想（バックドロップ）#5	2016	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H200×W150×D64cm
15	ボイルド空想（マテリアルのユーレイ）#3	2016	石粉粘土、アクリル製品、プラスチック製品、金属製品、サッカーボール、油絵の具	H77×W30.5×D42.5cm
16	ボイルド空想（バックドロップ）#2	2014	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H220×W150×D64cm
17	ボイルド空想（バックドロップ）#1’	2014	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H220×W150×D64cm
18	ZONES （スケートパーク）#2	2016	油絵の具、反射シート、ホログラムシート、木製パネル	H180×W180×D3.3cm
19	ボイルド空想（バックドロップ）#4	2014	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H220×W150×D64cm
20	ボイルド空想（バックドロップ）#3	2014	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H220×W150×D64cm
21	ZONES （スケートパーク）#1	2016	油絵の具、反射シート、ホログラムシート、木製パネル	H180×W240×D3.3cm
22	ボイルド空想（マテリアルのユーレイ）#23	2017	プラスチック製品、鉄製品、セメント、他	H45×W34×D38cm
23	ボイルド空想（バックドロップ / 壁紙）#3	2016	インクジェットプリント、ターボリン	H600×W422cm
24	ボイルド空想（バックドロップ）#10	2016	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H200xW130xD38cm
25	ボイルド空想（マテリアルのユーレイ）#20	2017	プラスチック製品、鉄製品、セメント、他	H190×W90×D60cm
26	ボイルド空想（マテリアルのユーレイ）#21	2017	プラスチック製品、鉄製品、セメント、他	H240×W125×D100cm
27	ボイルド空想（マテリアルのユーレイ）#22	2017	プラスチック製品、鉄製品、セメント、他	H220×W90×D90cm
28	ボイルド空想（バックドロップ）#7	2014	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H220×W150×D64cm
29	tower (THEATER) 舞台セット	2017	木	H600×W300×D300cm
30	ボイルド空想（バックドロップ）#1	2014	紙にインクジェットプリント、木製パネル	H220×W150×D64cm
31	《White Discharge（公圖）》 ※各パーツについては右ページ	2017	ミクストメディア	サイズ可変 Dimensions variable
32	Games,Dance and the Constructions(Color Plywood) #1	2015	スクリーン・プリント、木	H800×W120×D3.5cm
33	Hand and Building(slime)	2014	映像	
34	Splash &Flake(Pipeline/Kitakagaya) #1	2014	Wood, Plastic and Steel Found Objects	サイズ可変 Dimensions variable
35	Splash &Flake(Pipeline/Kitakagaya) #2	2014	Wood, Plastic and Steel Found Objects	サイズ可変 Dimensions variable
36	Splash &Flake(Pipeline/Kitakagaya) #3	2014	Wood, Plastic and Steel Found Objects	サイズ可変 Dimensions variable
37	Splash &Flake(Pipeline/Kitakagaya) #4	2014	Wood, Plastic and Steel Found Objects	サイズ可変 Dimensions variable
38	Splash &Flake(Pipeline/Kitakagaya) #5	2014	Wood, Plastic and Steel Found Objects	サイズ可変 Dimensions variable
39	Splash &Flake(Pipeline/Kitakagaya) #6	2014	Wood, Plastic and Steel Found Objects	サイズ可変 Dimensions variable

ホ
ワ
イ
ト
キ
ュ
ー
ブ

オープンストレージ

MASKならではのダイナミックな空間と創作性に着目し、金氏を含む全ての収蔵作品や部品をコラージュの要素として捉え、各アーティストとの相談と賛同を経て、作品部分を点在させたり、通常は見る事ができない作品の裏面などを見せるための導線を整備。作品と作品の組み合わせや、新たな文脈の提示を示すための配置や空間を流動化させることを主な意図に、照明家の高田による音や光を連動させた仕組みによって、1000平米の倉庫跡そのものを動きのある生き物のように変容させている。また、会期中には様々なゲストアーティストによるライブパフォーマンスやトークプログラムを展開。倉庫であり展示スペースであるという自由な場所に様々なジャンルの表現者を金氏が呼び入れることで、より流動的で自由な空間をつくることと、それら一連の行為そのものが舞台とも建築とも異なる“人が集まる場”という作品になると考えている。

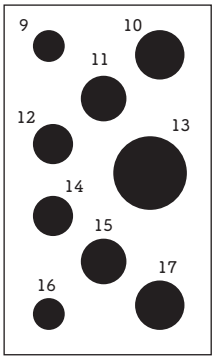
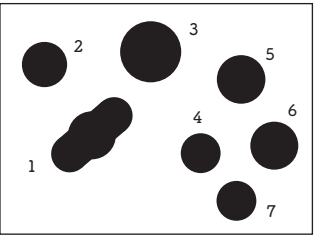
ホワイトキューブ

《Splash &Flake(Pipeline/Kitakagaya)》は、2014年のオープンストレージの初回時の出展作として、金氏が北加賀屋で伐採された街路樹などの枝木と様々なパイプのユニットを組み合わせて制作した作品を、今回、ギャラリー空間に移築・再構成し、照明家の高田が独自の解釈で電球を配し、照明デザインを加えて完成させたもの。木々の有機的な矩形がパイプユニットなどによって連携・配置された造形とともに、電球の明滅によって様々な陰影をもたられる変化する時間とともにお過ごし下さい。

《White Discharge（公圖）》

1	メリーゴーランド	W295×D122×H230cm
2	白鳥時計	W110×D80×H170cm
3	わくわくマリン	W137×D200×H210cm
4	一輪車	W90×D120×H147cm
5	フック 船長	W122×D126×H233cm
6	電気小屋	W138×D120×H253cm
7	ロケット（小）	W100×D80×H200cm

9	ペンギン	W62×D80×H135cm
10	ドレミファとーなっつ	W90×D194×H234cm
11	パイプ 2	W46×D90×H170cm
12	アラジン	W75×D83×H148cm
13	ロケット（大）	W155×D155×H250cm
14	パイプ 1	W105×D60×H80cm
15	ラッコ	W85×D50×H203cm
16	コアラ	W60×D45×H120cm
17	エンブレムパイプ	W132×D78×H162cm



- A 《フローラ》スカート
- B 《THE BALLAD OF EXTENDED BACKYARD,THE HOUSE》 模型
- C 《ラッキードラゴン》ボディ
- D 《ウルトラ - 黒い太陽》パーツ
- E 《フローラ》スカートのベース
- F 《フローラ》脚
- G 《フローラ》スカートの装飾
- H 《フローラ》スカート
- I 《フローラ》手足
- J 《フローラ》髪
- K 《ウルトラ - 黒い太陽》パーツ
- L 《フローラ》頭部
- M 《ラッキードラゴン》頭部

- 宇治野宗輝
- ① 《THE BALLAD OF EXTENDED BACKYARD, THE HOUSE》2015
家電機器、木、鉄、ミクストメディア 400×800×700cm(展開時)
【建築設計】dot architects、片岡慎策 ※2015年10月、MASKにて滞在制作
- ② 《THE BALLAD OF EXTENDED BACKYARD（car section）》2010-2013
木製家具、家電機器、他 サイズ可変
- 久保田弘成
- ③ 《大阪廻船》2013
プレジャーボート、鉄、エンジン、ステッカー 400×380×550cm
- 名和晃平
- ④ 《N 響 スペクタクル・コンサート「Tale of the Phoenix」 舞台セット》2015
ミクストメディア サイズ可変

- やなぎみわ
- ⑤ 《ステージトレラー「花鳥虹」》2014
1,021×652×1,129cm（展開時）
- ヤノベケンジ
- ⑥ 《ジャイアント・トラヤン》2005
アルミニウム、鉄、真鍮、FRP、発泡スチロール 720×460×310cm
- ⑦ 《ラッキードラゴン》2009
船、アルミニウム、FRP、他 1,000×450×1,530cm
- ⑧ 《ウルトラ - 黒い太陽》2009
コールドテン鋼、共振変圧器、カーボン、FRP、他 660×1,200×1,200cm
- ⑨ 《サン・チャイルド》2011
FRP、鉄、ネオン、他 620×444×263cm
- ⑩ 《フローラ》2015
FRP、鉄、油圧ユニット、他 610×426×425cm(立ち上がり時)